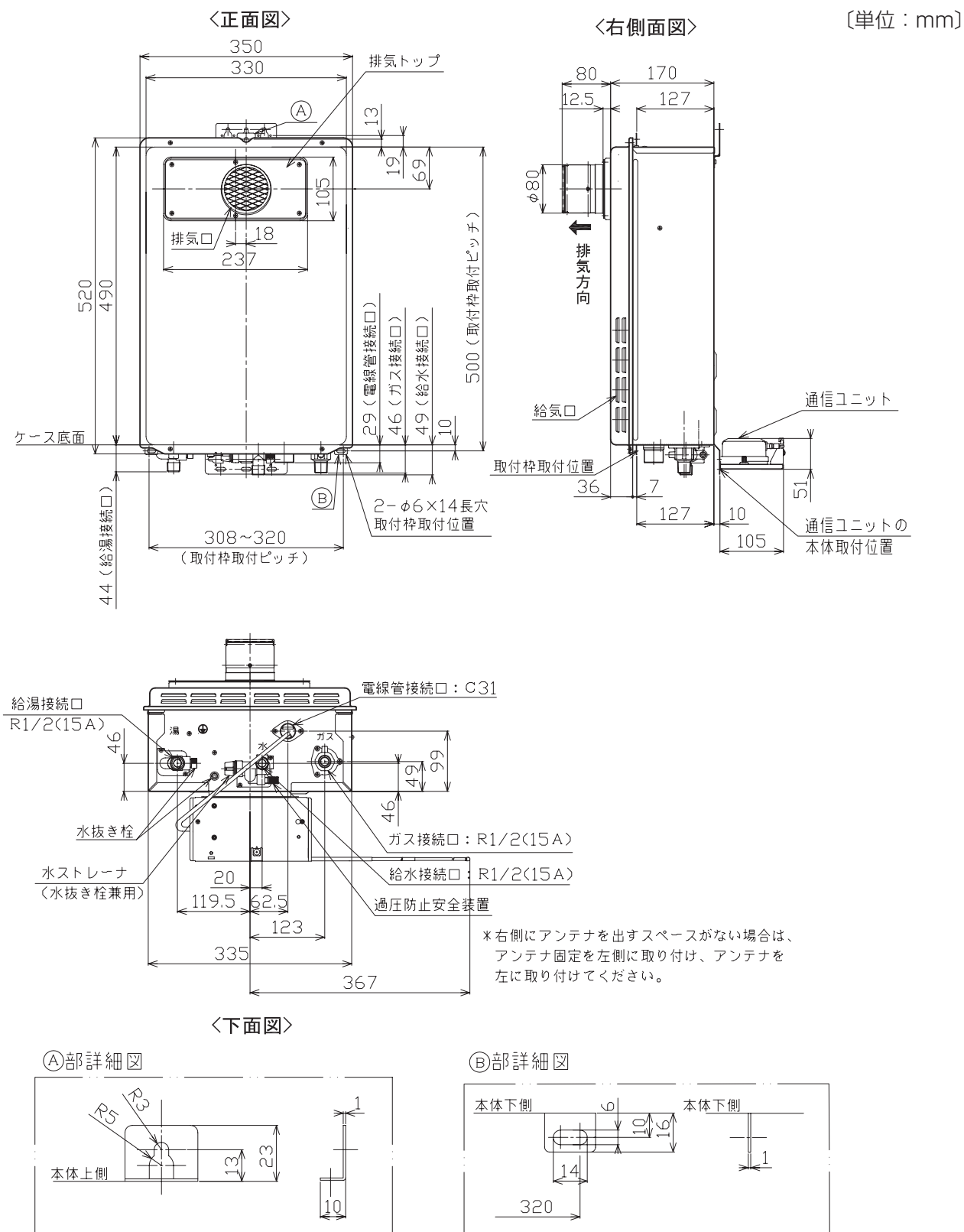


外形寸法図

■GW-20D8, GW-16D8

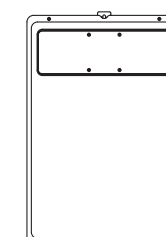


ガス給湯機 [屋外式]

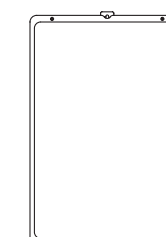
品番	GW-20A8・16A8	パイプシャフトアルコーブ設置形
	GW-20B8・16B8	パイプシャフト後方排気延長形
	GW-20C8・16C8	パイプシャフト前方排気延長形
	GW-20D8・16D8	パイプシャフト扉内設置形

工事説明書 (折り込み)

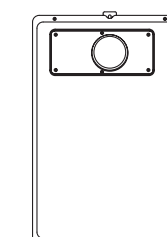
- 別添付の工事説明書の品番はGW-20Y8, GW-16Y8となっていますが、上記の品番と共通です。
- ただし、一部内容が異なりますので、別添付の工事説明書と共にこの折り込みをご参照ください。



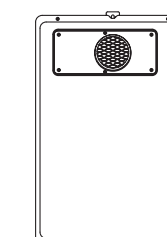
GW-20A8
GW-16A8



GW-20B8
GW-16B8



GW-20C8
GW-16C8



GW-20D8
GW-16D8

※リモコンを設置する場合は、各リモコンの工事説明書を併せてご覧ください。

付属品と別売品

	GW-20A8・16A8	GW-20B8・16B8	GW-20C8・16C8	GW-20D8・16D8
付属品	●取付ねじセット			—
別売品	●PS直付用金枠 (幅470 mm：AD-G220A) (幅342 mm：AD-G220B)			●PS扉内設置用金枠 (AD-G220C) ●扉内設置用取付枠 (AD-G230C-1)
	●コード接続式お湯はりオート付台所リモコン (GW-P412) ,浴室リモコン (GW-P413) ●コードレス台所リモコンセット (GWE-P412) ●コードレス浴室リモコン (GWE-P413) ●PS用リモコンケーブル (AD-GWP102P50) ●PS用電源ケーブル (AD-GWP38-30) ●厚壁スリーブ (AD-3722-1)			

お知らせ

- コード接続式リモコンとコードレスリモコンの混在使用はできません。

松下電器産業株式会社 トワレ・ヒーティングビジネスユニット
〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800
電話 (0743) 56-1121

機器の設置

- パイプシャフト設置の場合、前扉の上下に各々有効面積100 cm²程度の換気口を設けてください。
- パイプシャフトへの設置は自治体によって独自に規定している場合があるため、確認してください。
自治体によっては「パイプシャフトの正面の面積の5 %または500 cm²の大きい方とする」地域もあります。
- 扉内設置の場合の扉には、排気筒断面積以上の給気口を設けてください。

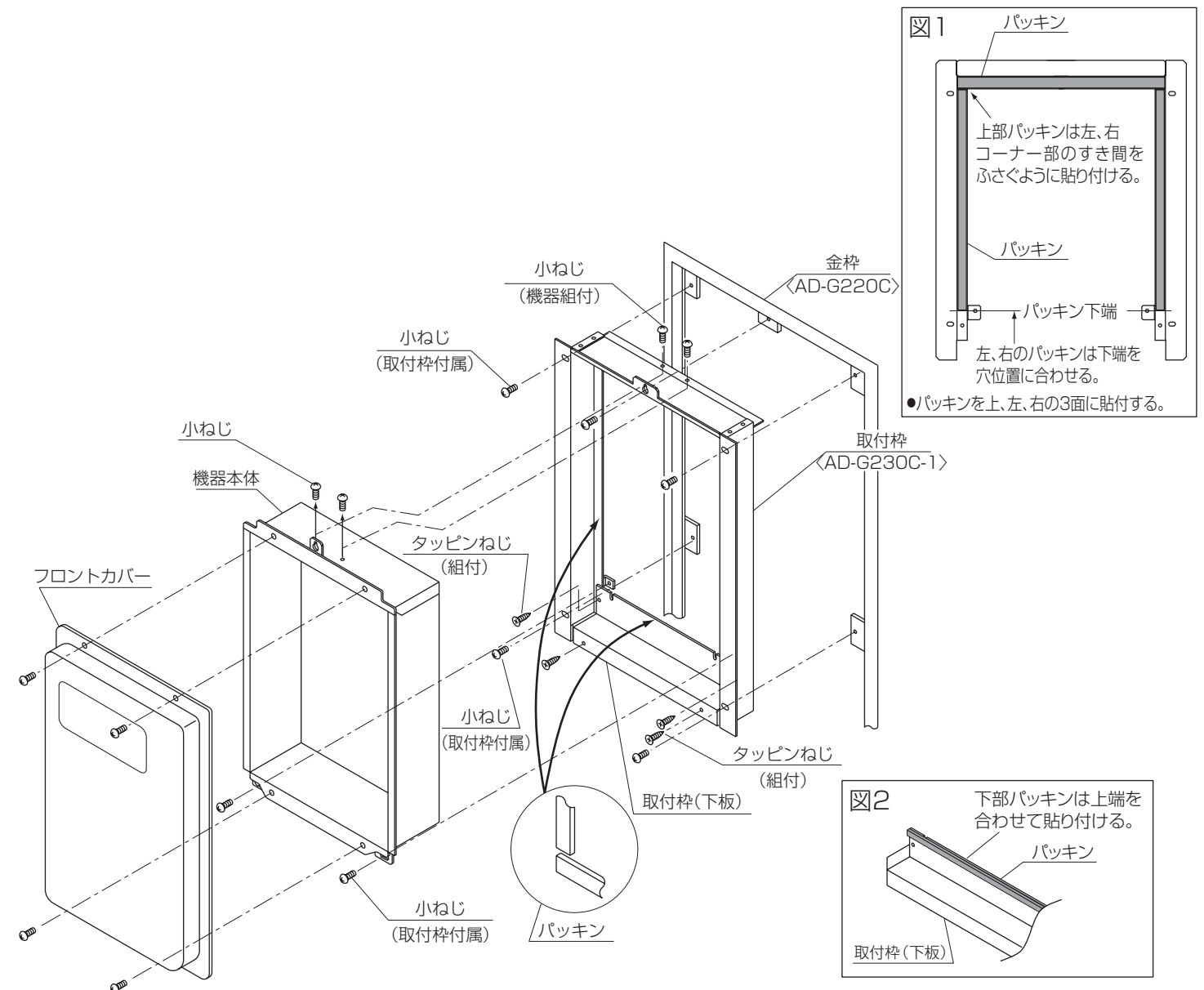
GW-20D8, GW-16D8の場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の扉内設置用です。
扉内設置用金枠<AD-G220C>(別売品)・扉内設置用取付枠<AD-G230C-1>(別売品)を使用し、取り付けてください。
工事をされる時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。

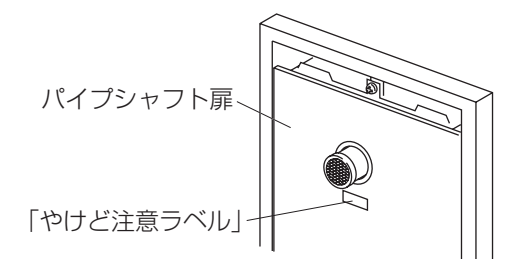
■取付手順

扉内設置用金枠を金枠、扉内設置用取付枠を取付枠で説明しています。

- ①取付枠(下板)を取付枠から取り外してください。
(タッピンねじ4本)
- ②パッキンを取付枠の奥フランジ面に貼り付けてください。(上、左、右の3面)
●貼り付け方法は図1参照ください。(余った部分のパッキンは切断してください。)
- ③機器本体のフロントカバーを取り外してください。
- ④機器本体上面の小ねじを取り外してください。(小ねじ2本)
- ⑤取り外した小ねじで取付枠を取り付けてください。(小ねじ2本)
- ⑥取付枠に付属の小ねじで、機器本体下部を取付枠に仮締めします。
- ⑦取付枠(下板)を取付枠にあてがい、ねじ穴があっていることを確認し、仮締めしていた小ねじを本締めしてください。(ねじ穴がずれている場合は仮締めねじをゆるめて取付枠の幅を調整してください。)
- ⑧金枠上中央に小ねじ(取付枠に付属)を仮締めします。
- ⑨機器本体を組み付けた取付枠を金枠上中央に仮締めしていた小ねじに引っ掛けてください。
- ⑩小ねじ(取付枠に付属)で取付枠を金枠に取り付けてください。
- ⑪金枠上中央の仮締めしていた小ねじを本締めしてください。
- ⑫配管施工後、取付枠(下板)にパッキンを貼り付けた後(図2参照)、下から差し込むようにして取付枠に取り付けてください。(①で取り外したタッピンねじ4本で固定します。)
- ⑬フロントカバーを取り付けてください。



※扉内設置の場合は、機器に同梱している「やけど注意ラベル」をパイプシャフト扉の排気口付近の見えやすいところへ、はがれないように貼ってください。



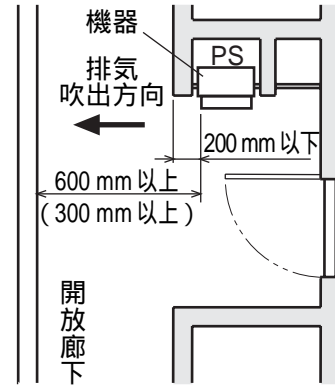
機器の設置

GW-20A8, 16A8の場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置式のアルコーブ設置用です。工事される時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。

■機器本体設置前のお知らせ

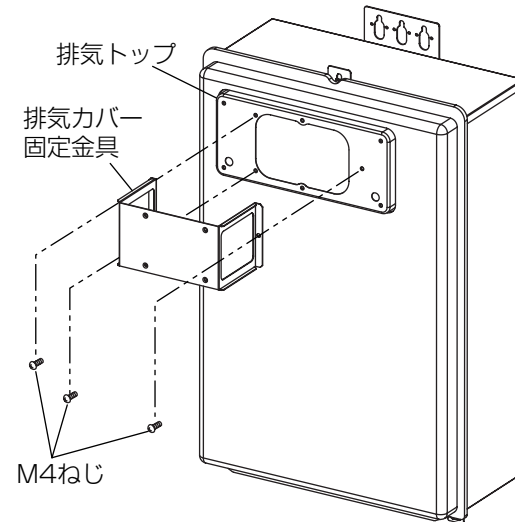
- 排気吹き出し口を開放廊下の壁面から200 mm以下になるように設置してください。
- 右図の寸法600 mm以上は、可燃物からの離隔距離です。
また（ ）内は防熱板を取り付けた場合および「不燃材料で有効に仕上げをした建築物」との寸法を示します。



■取付手順

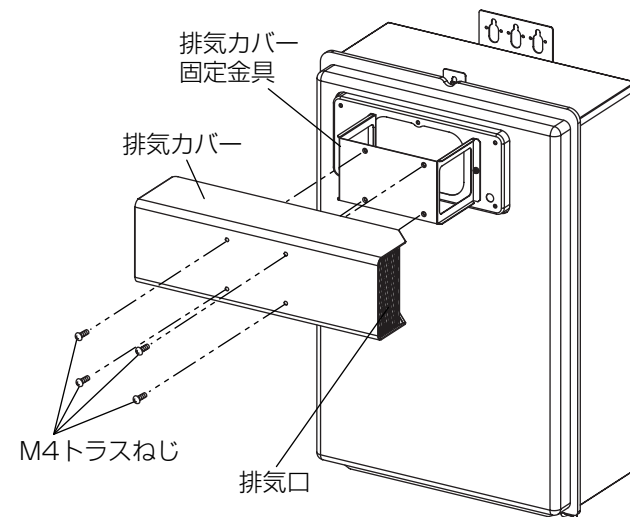
①排気カバー固定金具の取り付け

- 同梱の排気カバー固定金具をM4ねじ3本を使用して排気トップに取り付ける



②排気カバーの取り付け

- 排気吹き出し方向を決定して排気カバーを排気トップの排気カバー固定金具に取り付ける (M4トラスねじ4本)



GW-20B8, 16B8の場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の後方排気延長用です。排気筒の設置については、6ページをお読みください。

工事をされる時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。

■排気筒設置前のお知らせ

- この機器には排気ダンパーはありません。排気筒の延長長さに応じて排気ダンパーを変える必要はありません。
- 排気筒径はφ80です。
- 排気筒の最短延長は1 m×1曲がり以上としてください。
- 排気筒の延長長さは「最大7 m×3曲がり以下」としてください。ただし排気筒トップ吹き出し口の曲がりと機器から1つ目の曲がりは曲がり数には数えません。
- 排気延長した排気筒トップの位置と機器の給気位置とは同一風圧帯にしてください。

GW-20C8, 16C8の場合

この機器の設置方式は、パイプシャフト設置方式の前方排気延長用です。排気筒の設置については、7ページをお読みください。

工事をされる時は、この折り込みと別添付の工事説明書をよくお読みになってから、指定された工事を行なってください。

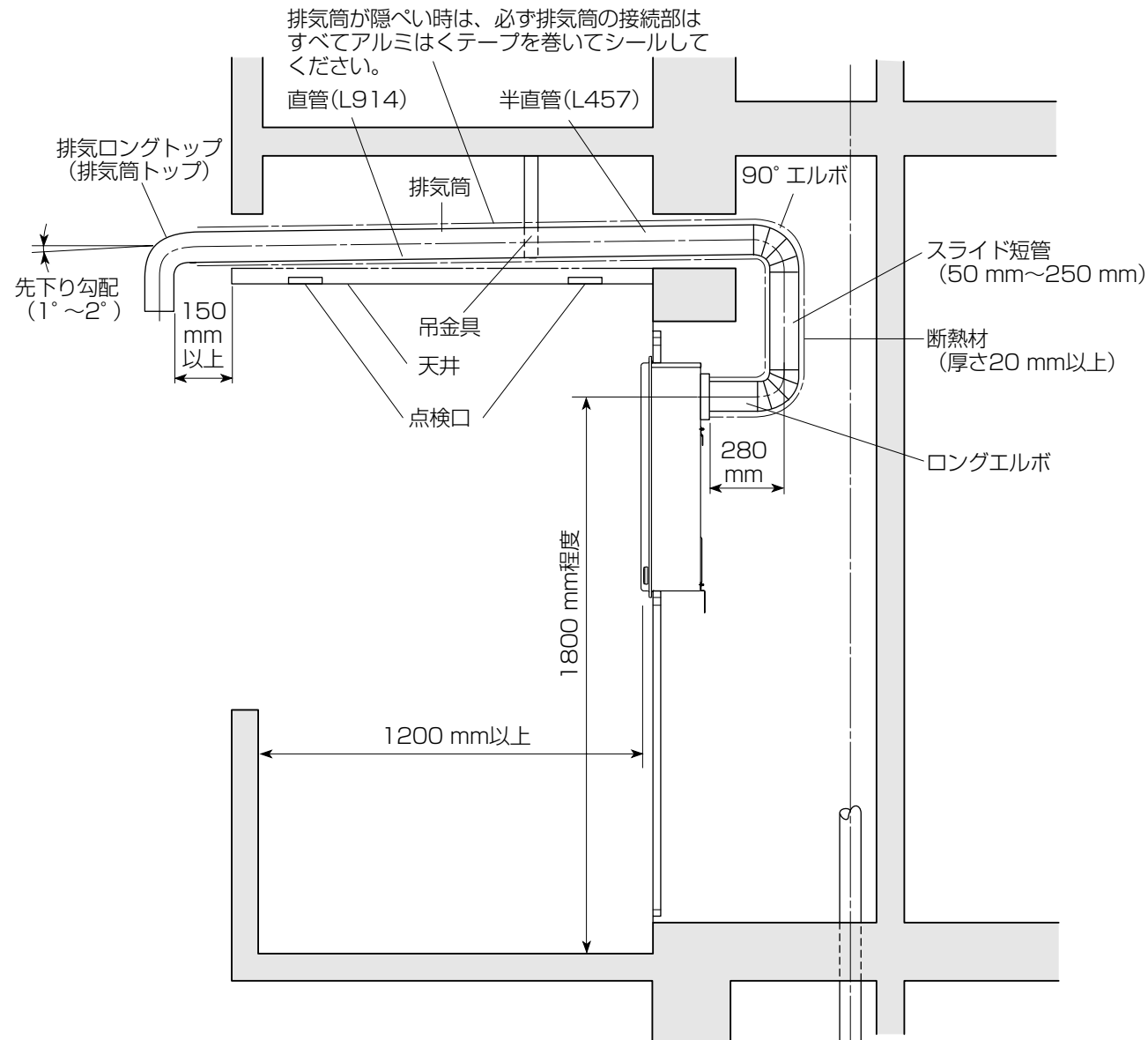
■排気筒設置前のお知らせ

- この機器には排気ダンパーはありません。排気筒の延長長さに応じて排気ダンパーを変える必要はありません。
- 排気筒径はφ80です。
- 排気筒の最短延長は1 m×1曲がり以上としてください。
- 排気筒の延長長さは「最大7 m×3曲がり以下」としてください。ただし排気筒トップ吹き出し口の曲がりと機器から1つ目の曲がりは曲がり数には数えません。
- 排気延長した排気筒トップの位置と機器の給気位置とは同一風圧帯にしてください。

排気筒の設置

■排気筒設置参考図

〈GW-20B8,16B8の場合〉



1. 排気筒設置工事をする場合、標準排気筒セット (システム部材開発センター扱いAD-20008・0) を使用してください。

2. 排気延長は7 m3曲がりまでとしてください。排気延長の場合下記排気延長用部材(システム部材開発センター扱い)を使用してください。

AD-20008・0

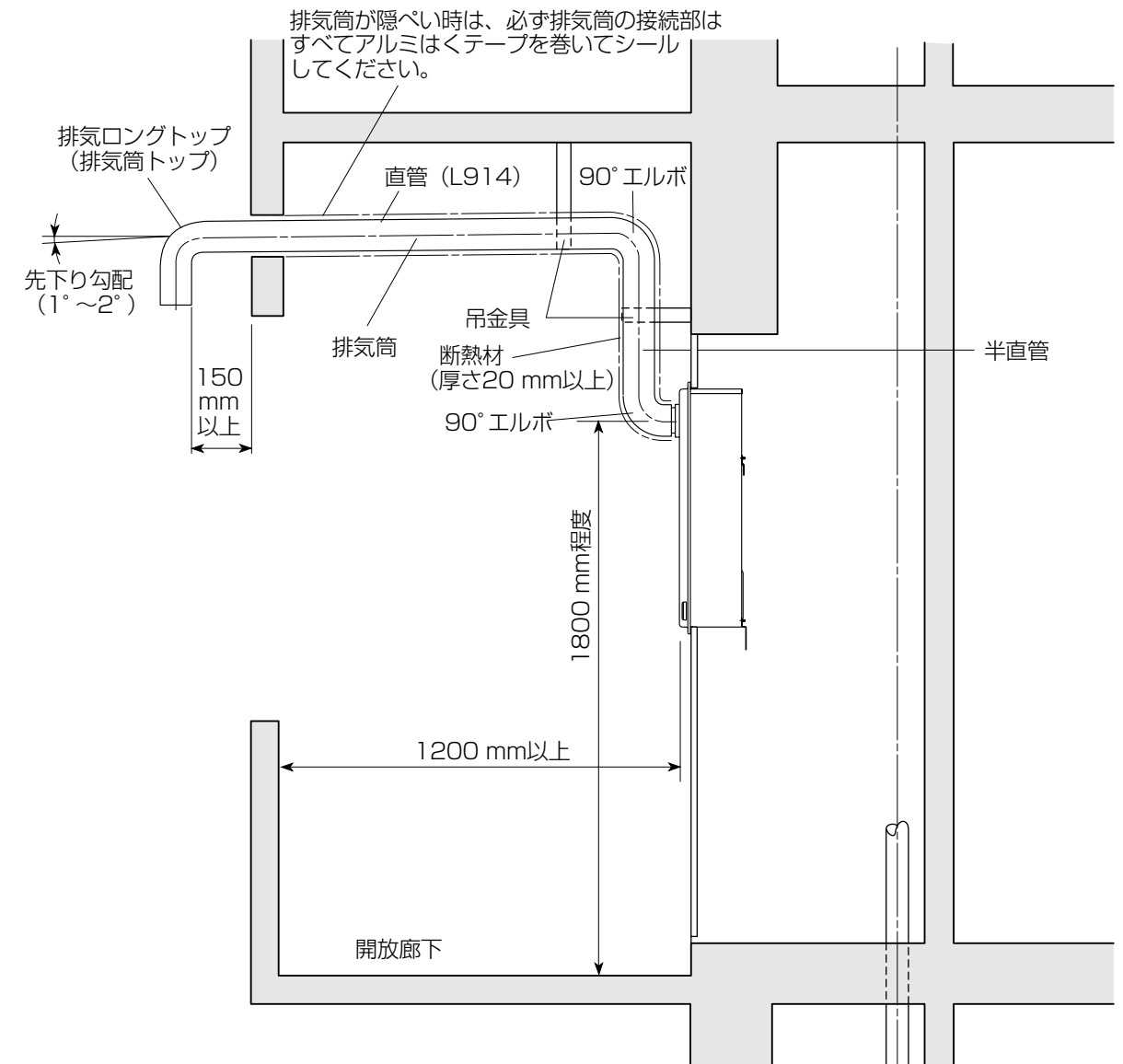
No.	部 品 名	寸法・仕様	個数
1	排気ロングトップ(断熱材付き)	φ80×500×145	1
2	ロングエルボ	φ80×280×220	1
3	90°エルボ	φ80×120×120	1
4	直 管	φ80×914	1
5	半 直 管	φ80×457	1
6	短 管	φ80×200	1
7	メガネ板(断熱材付き)	φ80×φ177	1組
8	吊 り 金 具	φ330~600	1
9	アルミはくテープ	幅30×2 000	1

φ80用排気延長用部材

部 品 名	寸法・仕様
直 管	AD-20008S(φ914)
半 直 管	AD-20008S1(φ457)
90°エルボ	AD-20008L
メガネ板	AD-20008G
吊 り 金 具	AD-20008Z
断 熱 材	AD-T1508

システム部材開発センター：TEL(06)6939-8742

〈GW-20C8,16C8の場合〉



1. 排気筒設置工事をする場合、標準排気筒セット (システム部材開発センター扱いAD-20008・0) を使用してください。

2. 排気延長は7 m3曲がりまでとしてください。排気延長の場合下記排気延長用部材(システム部材開発センター扱い)を使用してください。

AD-20008・0

No.	部 品 名	寸法・仕様	個数
1	排気ロングトップ(断熱材付き)	φ80×500×145	1
2	ロングエルボ	φ80×280×220	1
3	90°エルボ	φ80×120×120	1
4	直 管	φ80×914	1
5	半 直 管	φ80×457	1
6	短 管	φ80×200	1
7	メガネ板(断熱材付き)	φ80×φ177	1組
8	吊 り 金 具	φ330~600	1
9	アルミはくテープ	幅30×2 000	1

φ80用排気延長用部材

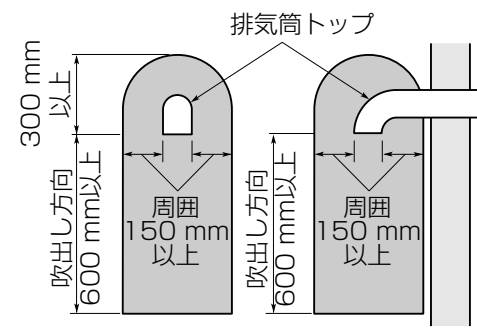
部 品 名	寸法・仕様
直 管	AD-20008S(φ914)
半 直 管	AD-20008S1(φ457)
90°エルボ	AD-20008L
メガネ板	AD-20008G
吊 り 金 具	AD-20008Z
断 熱 材	AD-T1508

システム部材開発センター：TEL(06)6939-8742

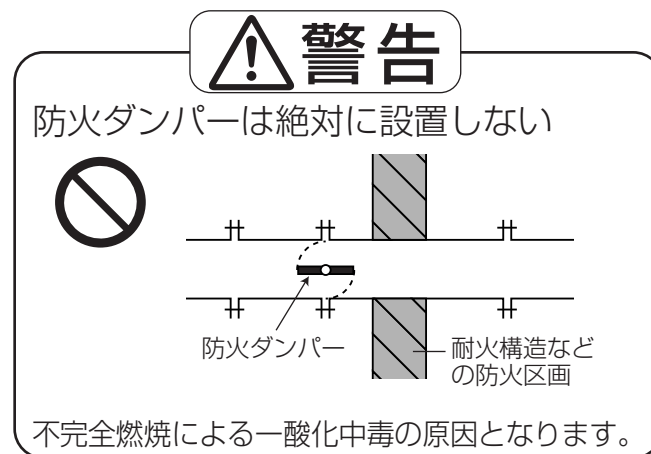
排気筒の設置

3.排気筒トップの周辺について

- ①排気筒トップの周囲150 mm、吹き出し方向600 mmの範囲内に可燃物がないこと。可燃物がある場合、可燃物を防火構造としてください。
- ②前記①に定める範囲の壁面上の投影面内に窓や換気口など燃焼排ガスが屋内に流入する恐れのある開口部がある場合は、排気筒トップの吹き出し口を、これから600 mm以上離してください。



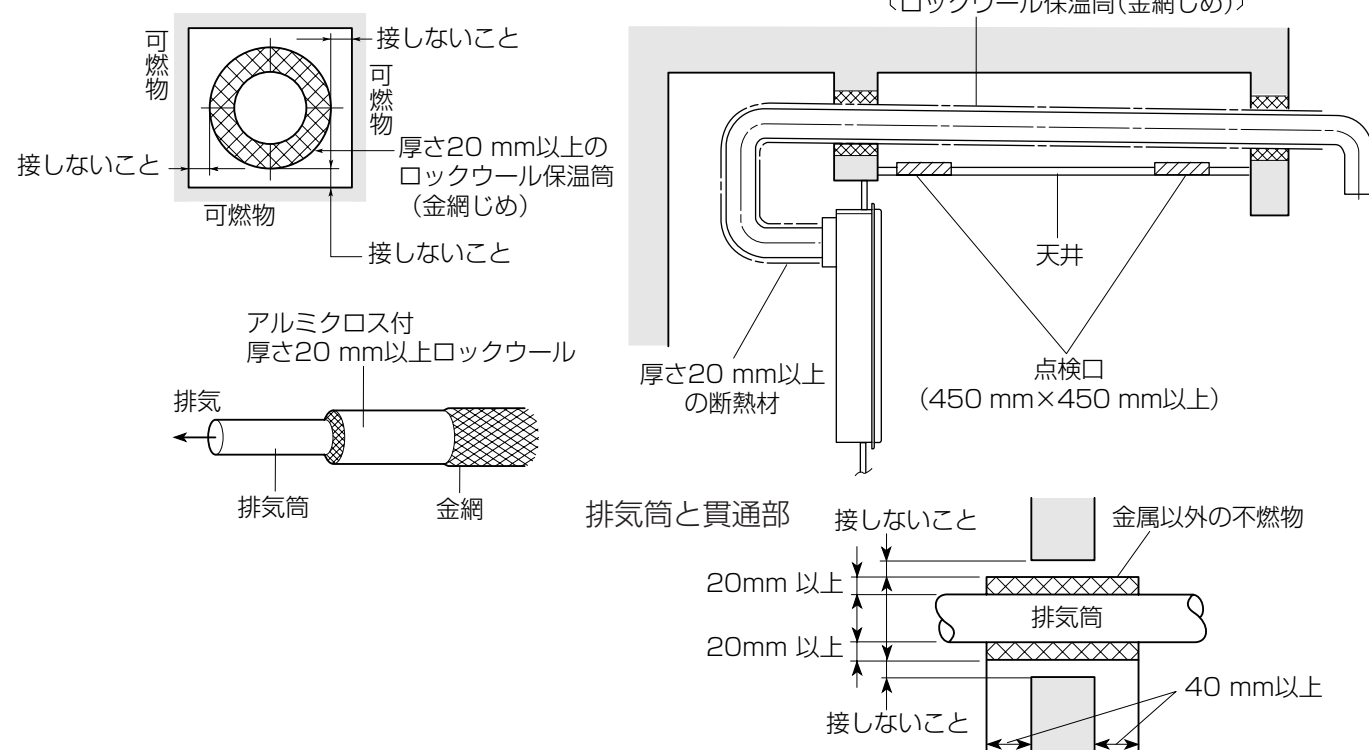
- 4.排気筒の接続はリベット止めまたはねじ止めてアルミはくテープで完全にシールしてください。
- 5.排気筒は、先端に向けて下り勾配(1~2°)になるように設置してください。
- 6.機器本体と排気筒の接続は、機器本体排気筒接続口にある穴を利用してM4ねじ1本(本体同梱)でねじ止めをし、その上からアルミはくテープで完全にシールしてください。
さらに厚さ20 mm以上の断熱材を排気筒に巻いてください。
- 7.排気筒には、ガス機器用の排気筒トップを使用してください。
- 8.排気筒には、防火ダンパーなどは取り付けしないでください。
- 9.排気筒は、屋内に設置しないでください。



■隠ぺい空間に排気筒を通す場合

- 点検口の設置場所は、隠ぺい空間への飛び込み口近くと外壁より屋外への出入り近くの2か所以上としてください。その大きさは450 mm角以上としてください。
- 間仕切り壁を貫通する場合は、その壁の近くに点検口を設けてください。
- 必ず排気筒に20 mm以上の断熱材を巻いてください。

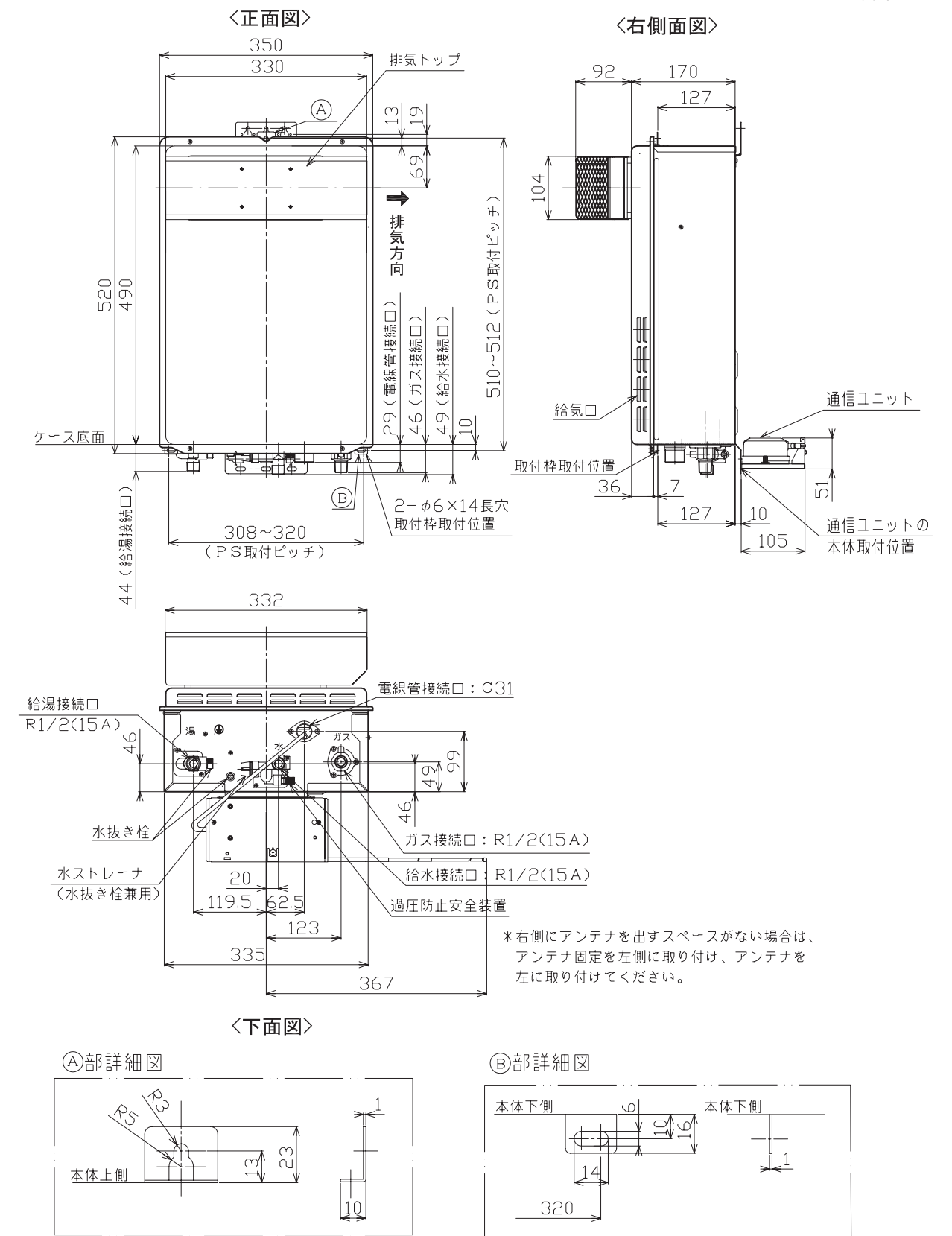
排気筒と可燃物との離隔距離



外形寸法図

■GW-20A8, GW-16A8

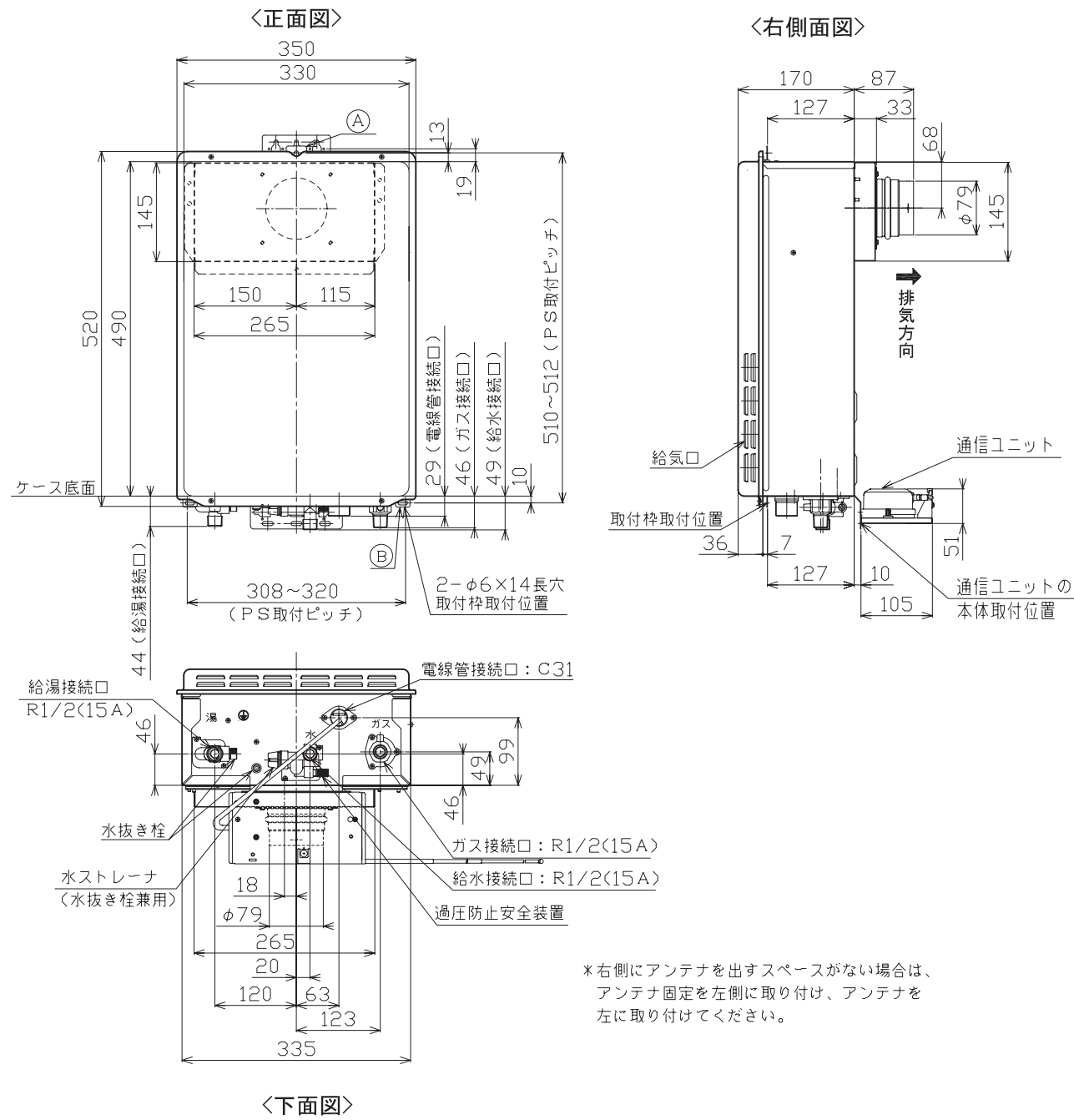
(単位: mm)



外形寸法図

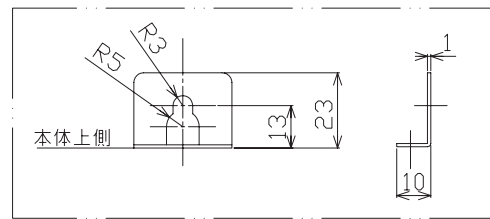
■GW-20B8, GW-16B8

(単位：mm)

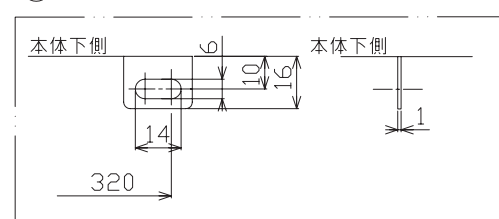


*右側にアンテナを出すスペースがない場合は、アンテナ固定を左側に取り付け、アンテナを左に取り付けてください。

①部詳細図



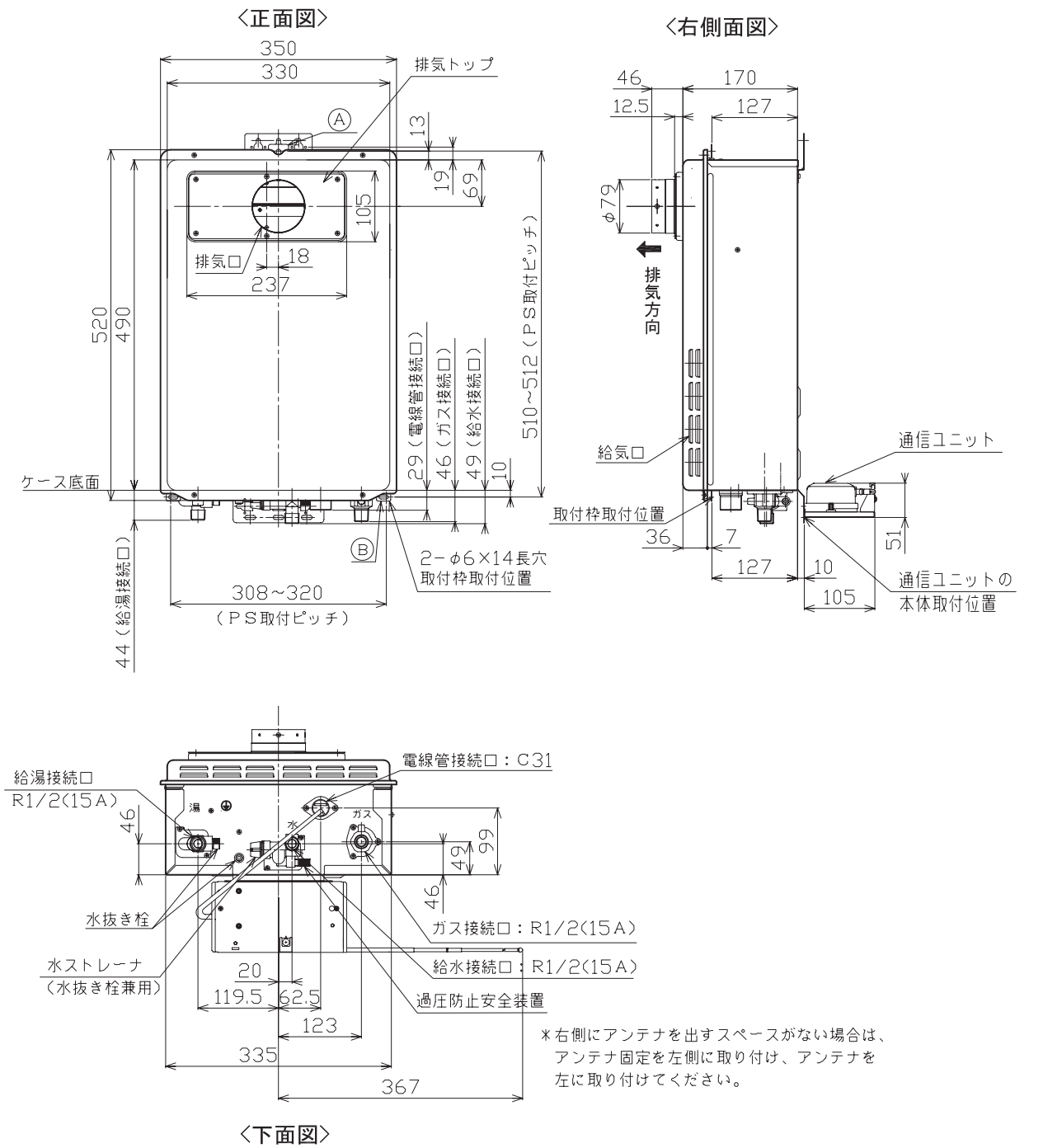
②部詳細図



(注) 最大延長長さは7 m3曲がりです。
 (ただし、先端の排気筒トップおよび、本体機器から1つ目の曲がりを含みません。)

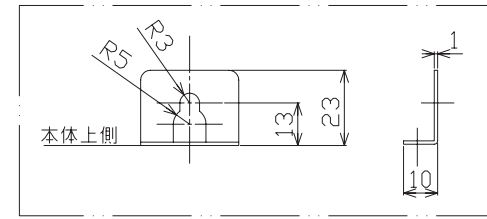
■GW-20C8, GW-16C8

(単位：mm)

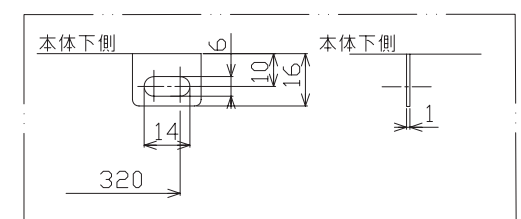


*右側にアンテナを出すスペースがない場合は、アンテナ固定を左側に取り付け、アンテナを左に取り付けてください。

①部詳細図



②部詳細図



(注) 最大延長長さは7 m3曲がりです。
 (ただし、先端の排気筒トップおよび、本体機器から1つ目の曲がりを含みません。)